

2024年5月30日

2024年度 新入社員の意識調査の結果について ～ タイパ重視のZ世代 ～

当社の子会社である NCB リサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 井野 誠司）は、本日、「2024年度 新入社員の意識調査の結果について」を公表しましたので、お知らせします。
詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2024年5月30日

各位

株式会社NCBリサーチ&コンサルティング

2024年度新入社員の意識調査の結果について ～ タイパ重視のZ世代 ～

当社は、新入社員を対象とする公開セミナーと企業内研修を開催しています。このセミナー・研修では、企業における有能な人材の獲得と育成の一助とする観点から、参加者のご協力を得て、意識面に関するアンケートを実施しています。この度、本年3・4月開催の新入社員セミナー・研修の参加者を対象に実施したアンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

ポイント

1. 就職活動が「とても大変だった」と「大変だった」の合計は、調査開始以来最高となった昨年の77.6%から減少に転じ、今年は74.5%でした。コロナ禍が就職活動にいかにか深刻な影響を与えていたかを物語っています(3頁)。
2. 企業の採用担当者にとって、面接を受けた学生に次のステップに進めないことを認知してもらう手段として、いわゆる「お祈りメール」と「サイレント」のどちらがよいのか悩ましい——という話を耳にします。今回の調査では、「お祈りメール」が90.0%と、圧倒的でした(3頁)。
3. 就職先を決める時に重視したものとして、オンライン選考が主流だったコロナ禍の下で順位を下げていた「会社の雰囲気・イメージ」が、コロナ禍が収束し会社訪問やリアル面接が再開されたことで、トップに振り返りました(4頁)。
4. 「独立・起業」もしくは「転職」を視野に入れている新入社員は53.5%と、昨年に続き最高を更新。2018年の29.2%から24.3ポイントも増加しました。一方、「定年まで同じ会社で働きたい」は28.3%と、過去最低となりました(5頁)。
5. 給料と残業に対する考え方は、「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が調査開始の2012年から年々増加傾向にあり、今回64.8%と、過去最高を更新しました。企業は、有能な人材の獲得と定着のためには、賃金の引き上げも大事ですが、ワークライフバランスにも不断に取り組む必要があるようです(6頁)。

詳細は、3頁以降をご覧ください。

【この調査結果に関するお問い合わせ先】

株式会社NCBリサーチ&コンサルティング 調査部 担当：原
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階
電話：092-282-2662

【調査概要】

1. 調査の目的

職業等に対する新入社員の意識を把握し若手社員育成の一助とする

2. 調査期間

2024年3月27日～4月16日

3. 調査対象

2024年春の新入社員で、弊社の新入社員公開セミナーまたは企業内研修の参加者 1128名(168社)のうち、アンケートの時間が取れなかった2社66名を除く1062名

回答数：857名 回答率：80.7%

開催地

公開セミナー（19コース）：福岡市、北九州市、久留米市

企業内研修（14コース）：福岡市、北九州市、別府市、下関市、福山市

4. 調査方法

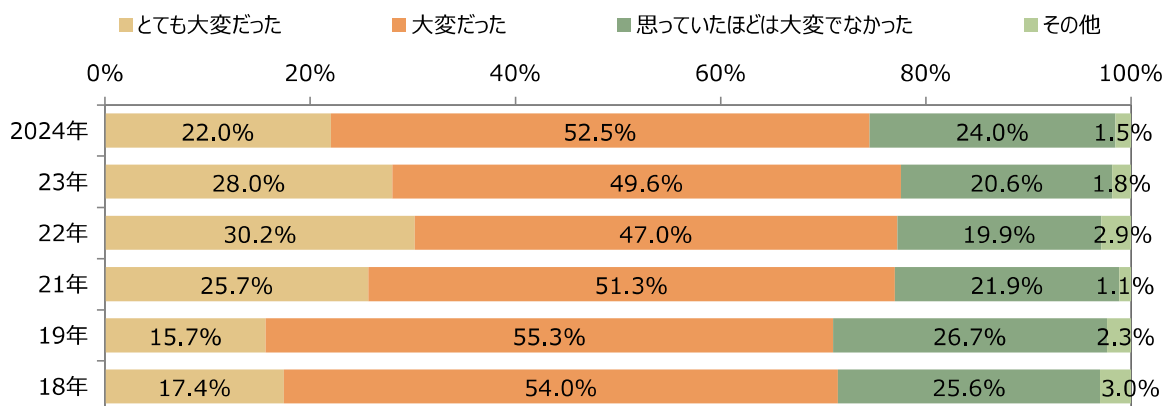
Web または紙（スマホ持込み制限がある場合）アンケート

※2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を優先し、2020年度新入社員向けの3・4月の一般公開セミナーをすべて中止しましたので、本アンケートは実施していません。

【調査結果】

1. 就職活動の感想をお聞かせください（1つ選択）

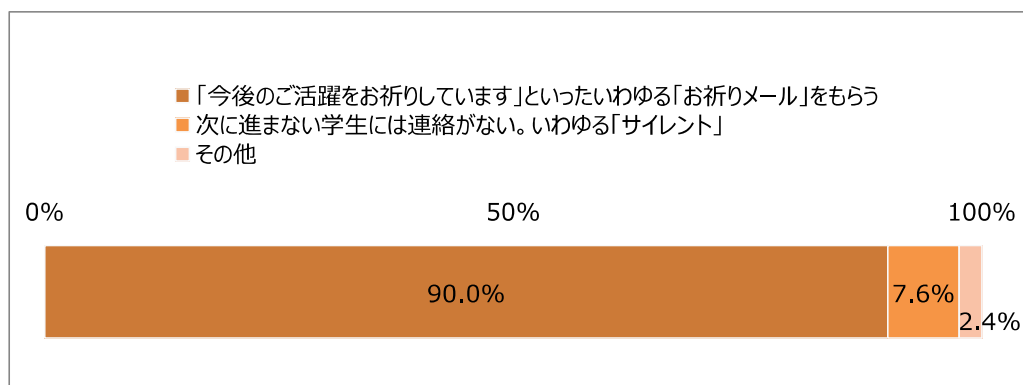
就職活動が「とても大変だった」と「大変だった」の合計は、調査開始以来最高となった昨年の77.6%から減少に転じ、今年（2024年）は74.5%でした。コロナ禍が就職活動にいかに深刻な影響を与えていたかを物語っています。



2. 面接に臨んだ会社から採用されないことを知るの、という方法が望ましいですか（1つ選択）

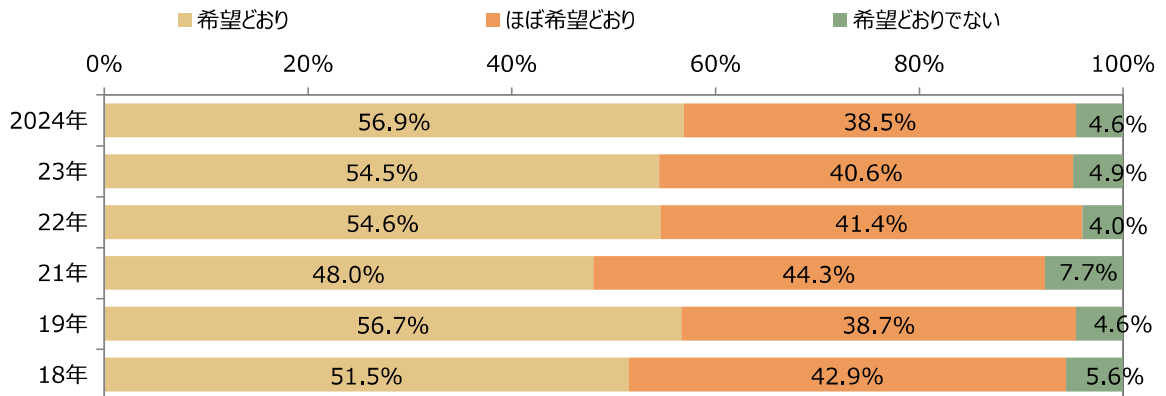
企業の採用担当者にとって、面接を受けた学生に次のステップに進めないことを認知してもらう手段として、「…今後のご活躍をお祈り申し上げます」いわゆる「お祈りメール」を送ると、何も連絡しない「サイレント」と、どちらがよいのか悩ましい——という話を耳にします。今回の調査では、「お祈りメール」が90.0%と、圧倒的でした。

その他では、電話での連絡希望、不採用の理由を教えてください、メールに「お祈り」はいらぬなどの意見がありました。



3. 希望していた会社に就職できましたか（1つ選択）

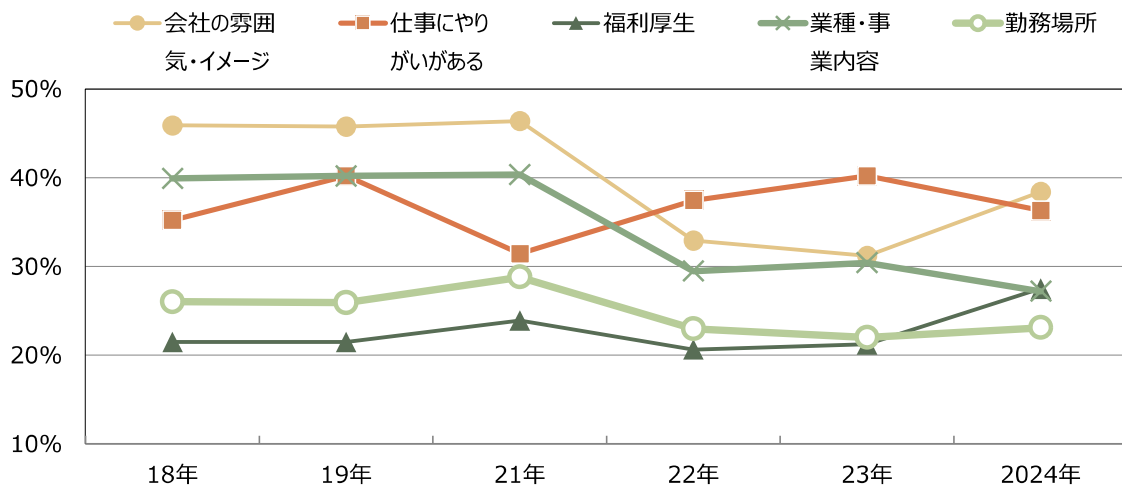
「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」の合計は 95.4%で、過去最高となった 2022 年の 96.0%に次ぐ高い水準となりました。就職活動の大変さは続いています。就職先に対しては満足していることがうかがえます。



4. 就職先を決める時、重視したものは何ですか（3つまで）

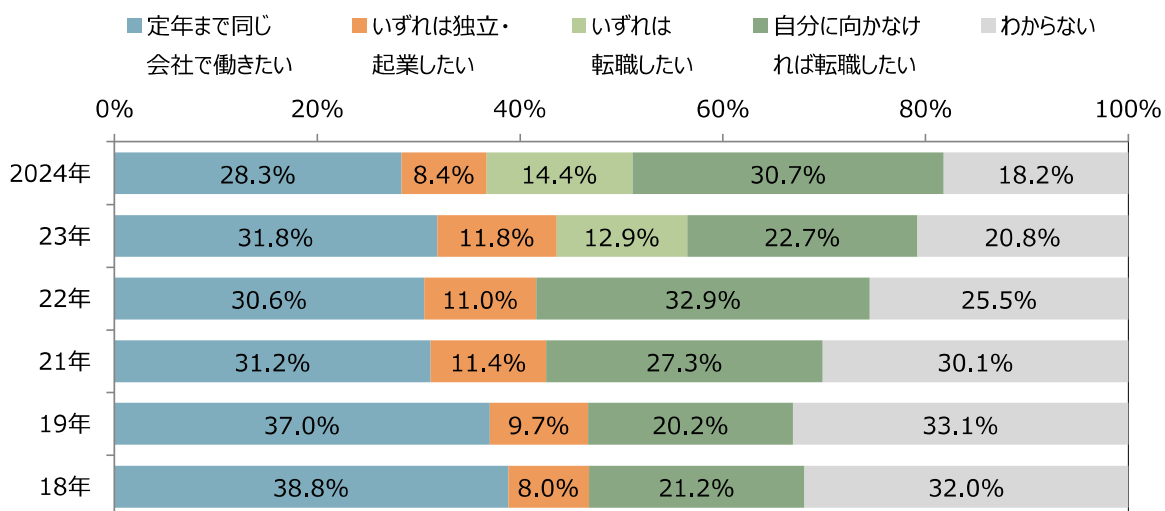
安定してトップだった「会社の雰囲気・イメージ」が、オンライン選考が主流となったコロナ禍の下では、重視したいが重視しようにも掴みようがなく順位を下げました。事実、昨年の調査では、「オンライン選考が中心で会社の雰囲気が分からなかった」が、就活が大変だった理由の上位に挙がっていました。

コロナ禍が収束し会社訪問やリアル面接が再開されたことで、今回の調査では「会社の雰囲気・イメージ」がトップに返り咲きました。



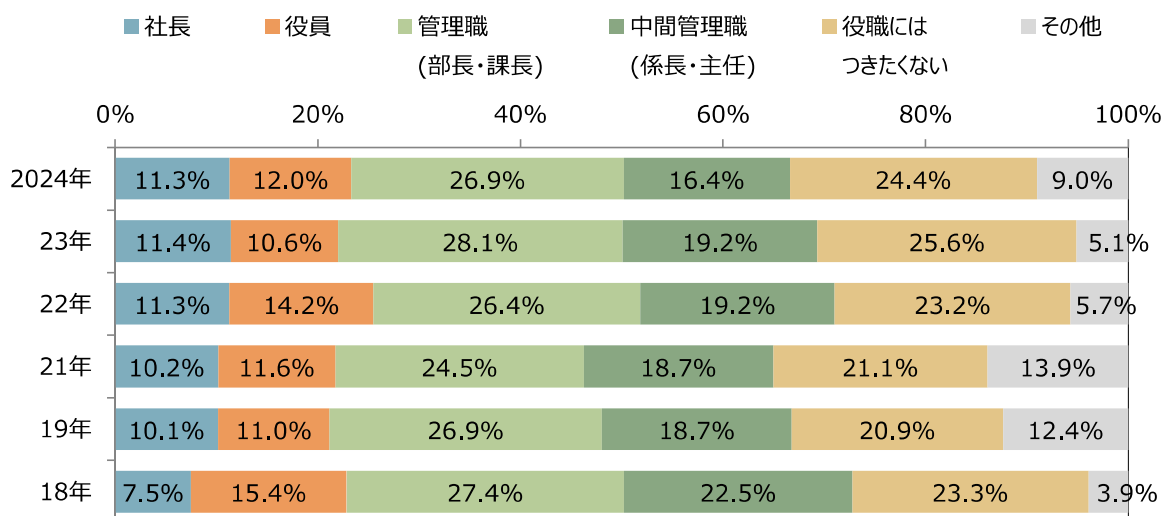
5. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択、2023年より一部選択肢を二つに分割）

「独立・起業」もしくは「転職」を視野に入れている新入社員は53.5%と、昨年に続き最高を更新。2018年の29.2%から24.3ポイントも増加しました。一方、「定年まで同じ会社で働きたい」は28.3%と、過去最低となりました。



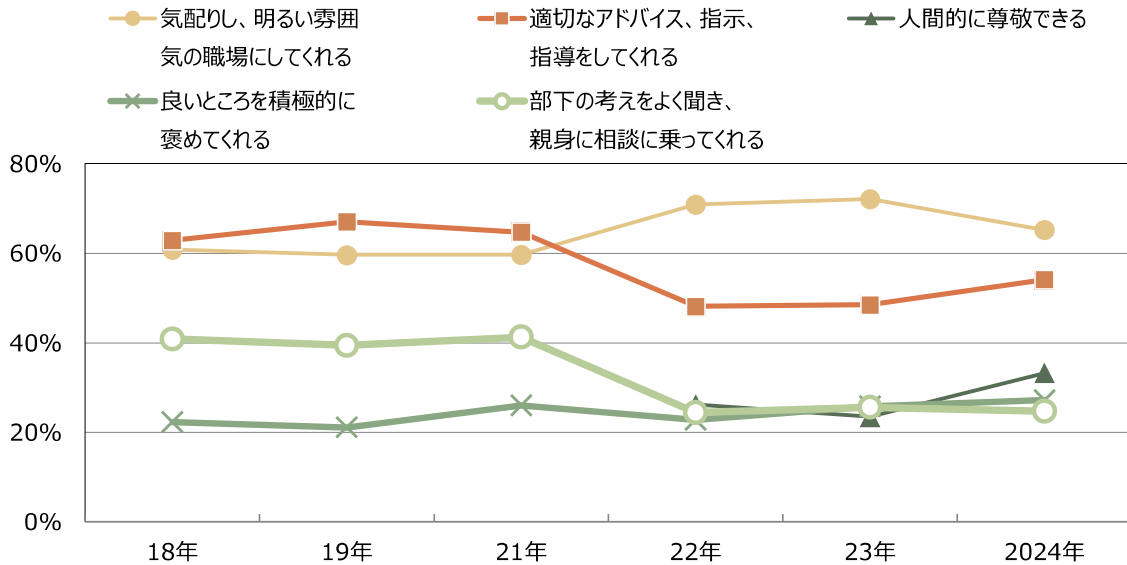
6. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、3年連続で50%を超えました。「その他」では、「まだ、考えていない・わからない」との意見が多くみられました。「役職にはつきたくない」と「その他」の合計は33.4%と昨年の30.7%から増加しており、二極化の傾向もみられます。Z世代はリアリストで夢をみないといわれることを反映しているかもしれません。



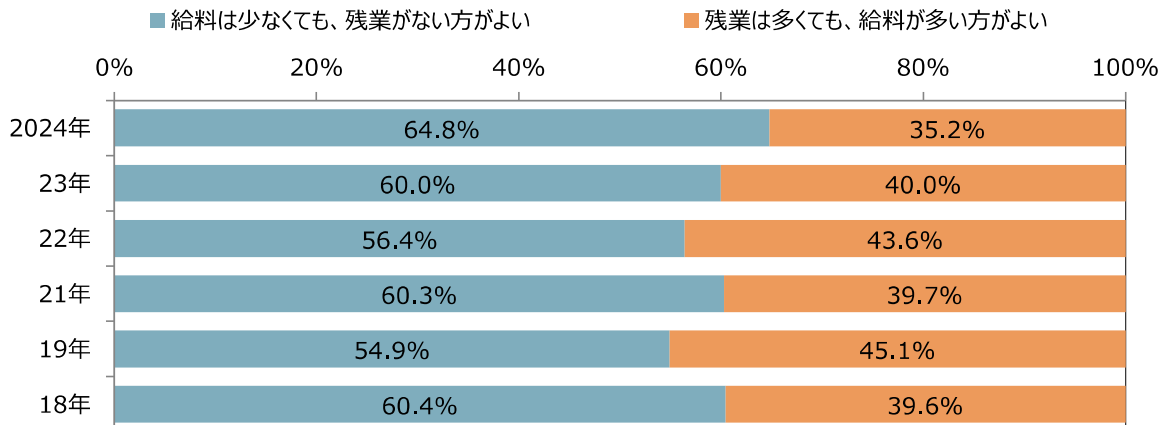
7. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」が3年連続で最多となりました。「人間的に尊敬できる」も増加しています。心を開く人の範囲が狭く、対面でのコミュニケーションを苦手とするZ世代とうまく付き合うには、明るい職場環境を作り、信頼を勝ち得ることが必要ようです。



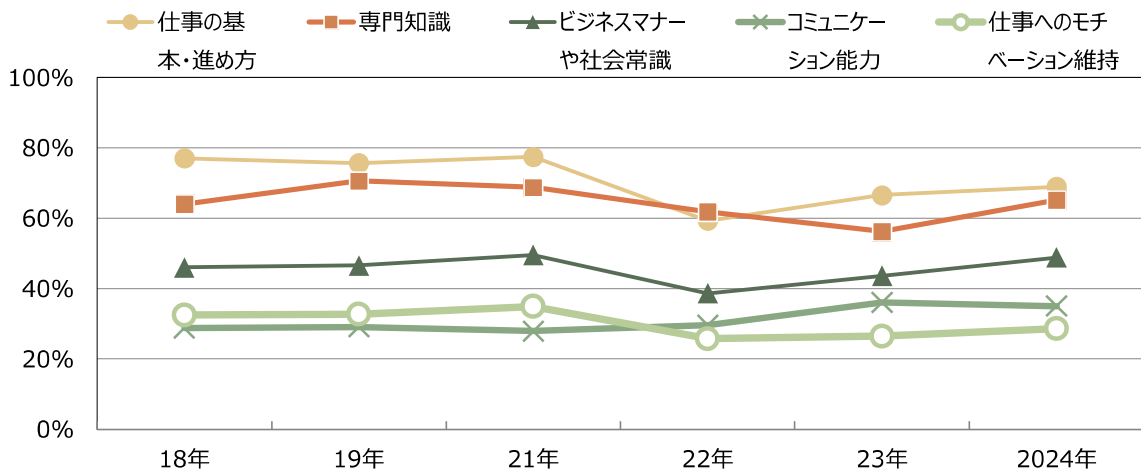
8. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

「給料は少なくても、残業がない方がよい」が調査開始の2012年から年々増加傾向にあり、今回64.8%と、過去最高を更新しました。企業は、有能な人材の獲得と定着のためには、賃金の引き上げも大事ですが、ワークライフバランスにも不断に取り組む必要があるようです。



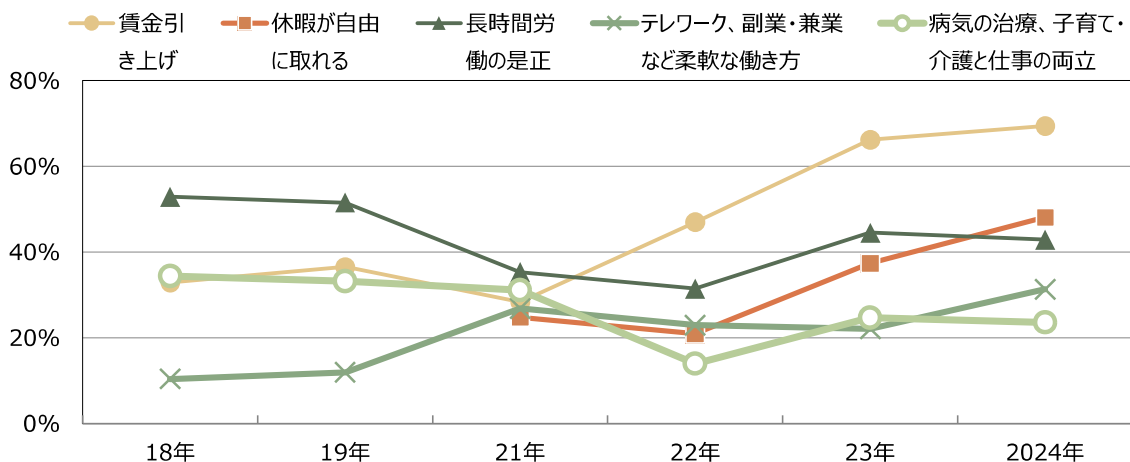
9. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

「仕事の基本・進め方」、「専門知識」が上位を占めています。起業や転職も念頭においている中、自分の市場価値を高めるキャリアパスを示してほしいという意識の表われではないでしょうか。



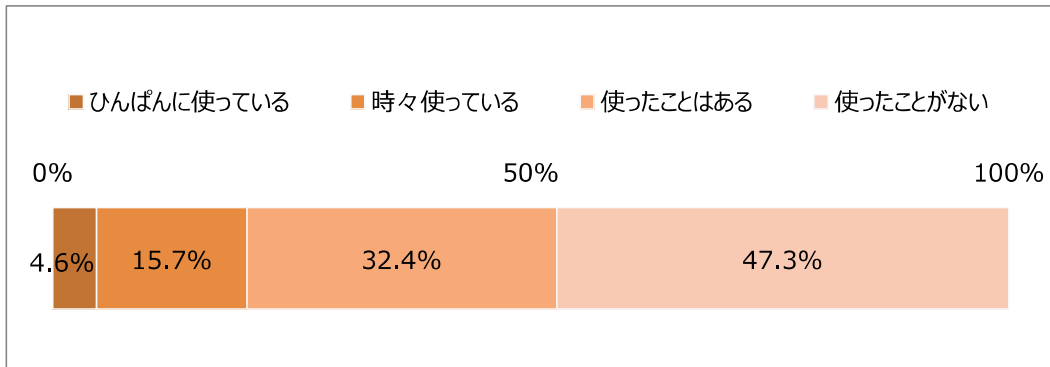
10. 働き方改革の中で、あなたが重要と思うテーマはどれですか（3つまで選択）

ここ数年、賃上げの報道が多いこともあり、「賃金引き上げ」の伸びが顕著で24年は、69.4%となりました。ボトムの21年の28.3%から約41%上昇しています。「休暇が自由に取れる」、「テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方」も伸びていますが、自分の時間を大切にしたい、タイパを重視したいという気持ちが表れているのかもしれない。



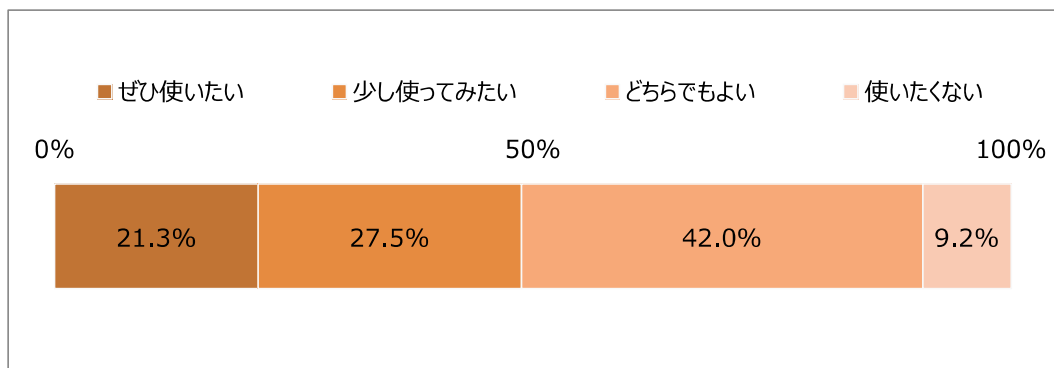
11. あなたは Chat GPT などの生成 AI を使っていますか（1つ選択）

2023年に Chat GPT などの生成 AI が世界中で大きな話題となったこともあり、ヘビーユーザーはまだ少ないものの、半分以上の人が使ったことがあるという結果でした。



12. 生成 AI を仕事で使ってみたいですか。また、それを選択した理由は何ですか（1つ選択）

「ぜひ使いたい」は21.3%でした。その理由としては、「仕事が効率化できる」との意見が多くみられました。一方、「使いたくない」は9.2%で、その理由としては「よくわからない」とともに「考える能力が落ちる」などの意見、また著作権やさまざまなリスクを懸念する意見がみられました。



<最後に>

1990年代後半から2012年頃に生まれた人々は、世間では「Z世代」と呼ばれています。生まれた時からデジタル機器やネットサービスに囲まれて育ち、スマートフォンやSNSに慣れ親しんでいるデジタルネイティブです。ネットで世界中のニュースや記事にアクセスしており、さまざまな価値観に触れることで、グローバル感覚に優れ、また多様性に富んだ考え方を持っていると言われています。一方、対面でのコミュニケーションが苦手で、ネットでの炎上などを見ていることから、間違いを恐れる、他人の目を気にして周囲の空気を読む傾向があるようです。

今回のアンケートにご協力いただいたのは、まさにZ世代の方々です。今回の調査では、「定年まで同じ会社で働きたい」は28.3%で過去最低を更新し、初めて30%を下回りました。一方、「いずれは独立・起業したい」、「いずれは転職したい」と「自分に向かなければ転職したい」の合計は53.5%となり、入社時点で、新入社員の2人に1人以上が将来、独立・起業、転職を視野に入れていることがわかりました。そのためにも、早く一人前になりたい、自分自身の市場価値を高めたいとの気持ち強いのではないのでしょうか。昨今、入社後間もない退職が話題になっていますが、キャリアパスを明確に示して自分の価値を高められる会社でなければ、新入社員からそっぽを向かれるかもしれません。

給与と残業の関係では、「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が64.8%と、過去最高を大幅に更新しました。同時に、働き方改革の中で重要なテーマとして賃金引き上げが69.4%と上昇傾向が続いています。「タイパ（タイムパフォーマンス）」を重視する世代であり、ワークライフバランスと高賃金を同時に求めているようです。

弊社では、社員の皆さまの成長に役立つ様々なセミナーや研修を提供しております。また、人事制度などのご相談も承っておりますので、是非ご利用・ご相談ください。

最後になりましたが、本調査結果が、新入社員育成の一助となれば幸いです。

－ご利用に際して－

- ◇ 本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
- ◇ 本資料は、当社担当者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ◇ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
- ◇ 本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：(株)NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- ◇ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。